



インストールの準備

ここでは、PA-4T を取り付けるために必要な機材、安全上の注意、および設置場所の準備について説明します。この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [必要な工具および機器 \(p.2-1\)](#)
- [ソフトウェアおよびハードウェアの要件 \(p.2-2\)](#)
- [ハードウェアおよびソフトウェアの互換性の確認 \(p.2-3\)](#)
- [安全に関する推奨事項 \(p.2-4\)](#)
- [FCC クラス B 規格への準拠 \(p.2-6\)](#)

必要な工具および機器

ポートアダプタを取り付けるには、次の工具と部品が必要です。追加の機器が必要な場合には、製品を購入された代理店に発注方法をお問い合わせください。

- PA-4T(=) ポートアダプタ
- VIP (Cisco 7500 シリーズ シャーシに搭載する場合のみ)。PA-4T をサポートする特定の VIP モデルについては、「[ソフトウェアおよびハードウェアの要件](#)」(p.2-2) を参照してください。
- 必要なポートアダプタインターフェイスタイプおよびモードに対応するシリアルケーブル（「[ケーブル、コネクタ、ピン割り当て](#)」[p.1-6] を参照）
- No. 1 プラス ドライバおよび 3/16 インチ マイナス ドライバ（VIP2 に搭載する場合）
- ユーザ側で用意した静電気防止用器具、またはすべてのアップグレードキット、Field-Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット)、およびスペアに付属の使い捨て静電気防止用リストストラップ
- 静電気防止用マット
- 静電気防止用コンテナ

ソフトウェアおよびハードウェアの要件

表 2-1 に、サポート対象ルータまたはスイッチ プラットフォーム上で PA-4T を使用する場合に最低限必要な Cisco IOS ソフトウェア リリースを示します。

表 2-1 PA-4T のソフトウェア要件

プラットフォーム	推奨する最低限の Cisco IOS リリース
Cisco 7200 シリーズ Cisco 7202、Cisco 7204、および Cisco 7206	Cisco IOS Release 11.1(472) 以上の Cisco IOS Release 11.1 リリース Cisco IOS Release 11.1(9)CA 以上の Cisco IOS Release 11.1CA リリース Cisco IOS Release 11.2(1) 以上の Cisco IOS Release 11.2 リリース Cisco IOS Release 11.2(5)P 以上の Cisco IOS Release 11.2P リリース Cisco IOS Release 12.2(4)B 以上の Cisco IOS Release 12.2 B リリース
Cisco 7500 シリーズに搭載の VIP2^{1 2} VIP2-15(=) または VIP2-40(=) を搭載	Cisco IOS Release 11.1(472) 以上の Cisco IOS Release 11.1 リリース Cisco IOS Release 11.1(9)CA 以上の Cisco IOS Release 11.1CA リリース Cisco IOS Release 11.2(1) 以上の Cisco IOS Release 11.2 リリース Cisco IOS Release 11.2(5)P 以上の Cisco IOS Release 11.2P リリース
VIP2-50(=) を搭載	Cisco IOS Release 11.1(14)CA 以上の Cisco IOS Release 11.1 CA リリース

1. PA-4T は、Route Switch Processor (RSP; ルート スイッチ プロセッサ) を使用するすべての Cisco 7500 シリーズルータ、および RSP7000 および RSP7000CI を使用する Cisco 7000 シリーズルータに搭載の VIP2 で使用できます。
2. RSP7000 および RSP7000CI を使用するすべての Cisco 7500 シリーズルータの PA-4T 用に推奨する特定の VIP2 モデルは、1 MB の SRAM および 8 MB の DRAM を備えている VIP2-15(=)、1 MB の SRAM および 16 MB の SDRAM を備えている VIP2-20(=)、2 MB の SRAM および 32 MB の DRAM を備えている VIP2-40(=)、4 ~ 8 MB の SRAM および 32 ~ 128 MB の SDRAM を備えている VIP2-50(=) です。



注意

システムトラブルを防止するため、VIP2 を使用する場合は、Cisco 7000 シリーズルータに RSP7000 および RSP7000CI を搭載しておく必要があります。Cisco 7000 シリーズルータに Route Processor (RP; ルート プロセッサ)、Switch Processor (SP; スイッチ プロセッサ)、または Silicon Switch Processor (SSP; シリコン スイッチ プロセッサ) が搭載されている場合、VIP2 は正常に動作しません。

Cisco 7200 シリーズにポート アダプタを搭載する場合のコンフィギュレーション ガイドラインについては、『Cisco 7200 Series Port Adapter Hardware Configuration Guidelines』を参照してください。

ハードウェアおよびソフトウェアの互換性の確認

ご使用のルータに搭載されているハードウェアについて、Cisco IOS ソフトウェアの最小要件を確認できるよう、シスコは Cisco.com で Software Advisor ツールを提供しています。このツールは、システム内のモジュール間の互換性を確認するものではなく、個々のハードウェア モジュールまたはコンポーネントにおける IOS の最小要件を確認できます。



(注)

このツールへのアクセスは、Cisco.com のログイン アカウントを持つユーザーに限定されています。

Software Advisor にアクセスするには、Cisco.com で **Login** をクリックして、**Technical Support Help—Cisco TAC、Tool Index、Software Advisor** の順に選択します。ブラウザに直接、<http://www.cisco.com/cgi-bin/support/CompNav/Index.pl> と入力してもアクセスできます。

製品ファミリーを選択するか、または特定の製品番号を入力して、ご使用のハードウェアでサポートされるソフトウェア リリースの最小要件を検索します。

安全に関する推奨事項

ここでは、電気機器または電話回線を取り扱う際に従うべき安全に関する注意事項を示します。

安全上の警告

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。

警告の定義



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

これらの注意事項を保存しておいてください。

電気機器を扱う際の注意事項

電気機器を取り扱う際には、次の基本的な注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を行う前に、室内の緊急電源遮断スイッチがどこにあるかを確認しておきます。
- シャーシの取り外しを行う前に、すべての電源コードおよび外付けケーブルを外してください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 回路の電源が切断されていると思いつまず、必ず確認してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや保護アースの不備などがないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。

電話回線を扱う場合の注意

電話回線または他のネットワーク配線に接続されている機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- 雷が発生しているときには、電話線の接続を行わないでください。
- 防水設計されていない電話ジャックは、湿気の多い場所に取り付けしないでください。
- 電話回線がネットワーク インターフェイスから切り離されている場合以外、絶縁されていない電話ケーブルや端子には、触れないでください。
- 電話回線の設置または変更は、十分注意して行ってください。

静電破壊の防止

ESDにより、装置や電子回路が損傷を受けることがあります（静電破壊）。静電破壊は電子部品の取り扱いが不適切な場合に発生し、故障または間欠的な障害をもたらします。ポートアダプタおよびプロセッサモジュールの金属フレーム内にはプリント基板が組み込まれています。EMI（電磁波干渉）シールドおよびコネクタは、フレームを構成する部品です。基板は金属フレームによってESDから保護されていますが、基板を取り扱うときは、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。

静電破壊を防ぐために、次の注意事項に従ってください。

- 静電気防止用リスト/アングルストラップを肌に密着させて着用してください。
- シャーシフレームの塗装されていない面にストラップのクリップを取り付けてください。
- コンポーネントを取り付けるときは、任意のイジェクトレバーまたは非脱落型ネジを使用して、バスコネクタをバックプレーンまたはミッドプレーンに適切に固定してください。イジェクトレバーや非脱落型ネジは、バスコネクタの脱落を防ぐだけでなく、システムに適切なアースを提供し、バスコネクタを確実に固定させるために必要です。
- コンポーネントを取り外すときは、任意のイジェクトレバーまたは非脱落型ネジを使用して、バックプレーンまたはミッドプレーンからバスコネクタを取り外してください。
- フレームを取り扱う際は、ハンドルまたはエッジ部分だけを持ち、プリント基板またはコネクタには触れないでください。
- 取り外した基板はコンポーネント側を上にして、静電気防止用シートに置くか、静電気防止用コンテナに収めます。コンポーネントを返却する場合には、取り外したボードをすぐに静電気防止用コンテナに入れてください。
- プリント基板に衣服が接触しないように注意してください。リストストラップは体内の静電気からコンポーネントを保護するだけです。衣服の静電気によって静電破壊が生じることがあります。
- プリント基板は、金属フレームから取り外さないでください。



注意

安全のために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は1～10 MΩでなければなりません。

FCC クラス B 規格への準拠

このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコシステムズの指示する設置手順に従わずに装置を設置した場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコシステムズの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します（装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

米国シスコシステムズ社では、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。